



を収穫しました

ブルーベリー





新規事業レポート 農園づくりの奮闘中！

センターでは現在、今年からの新規事業として農園づくりの指導に取り組んでいます。その様子を現地からレポートします。

「いい作物づくりは、まず土づくりからですよ」「やさしく丁寧に植えてあげてね」

元気な声が飛び交うここは岐山地区にある日本ゼオン（株）の社宅の遊休地。現在、センターでは新規事業の「農園づくり」に社員の皆さんと一緒に奮闘中です。事の始まりは今年2月、企業から、障害を持った方が働ける



苦勞した土でゴマが生育中

よう「遊休地を活用して、農園を作りたい。収穫まで年間を通じての野菜づくりの指導をセンターにお願いできないか」とお話をいただいたことでした。

これまで経験のない初めての依頼でしたが、新規事業開拓はセンターにとっても重要な使命。早速仕事や趣味で農作業経験のある会員を募り、取り組むことといたしました。

今は土づくりから植えつけを経てもうじき収穫、という段階。サツマイモやゴマ、ヤーコンなどの野菜やいずれはイチゴなどの果物も育てていく計画です。

新たな展開も視野に

企業にとっては遊休地の活用を図るとともに障害者の社会参加に貢献し、近隣の地域や施設、また社員食堂にも作物を提供していきたい、とのこと。当センターにとっても農園づくりのノウハウを蓄積すること



まずは皆で土づくりから学習

は独自の事業開拓など、新たな展開にもつながる夢のある仕事になりそうです。

県下でも珍しいこうした新規の取り組みは、8月26日に開催された県全体を対象とする高齢者雇用創出のシンポジウムでも紹介されました。

10月は「事業普及啓発促進月間」。

センターでは今後とも新たな事業開拓には積極的に取り組んでいきます。新規業務等の情報をお持ちの方がいましたらぜひ事務局までご一報ください。

会員の皆様へ
その1

10月は事業普及 啓発促進月間

毎年10月は「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」です。

この期間は、地域や行政機関などに積極的に働きかけ、シルバー事業の社会的意義や活動内容についての理解を深めるPR活動を展開します。

特に「会員の増強」と「業務の開拓・拡大」は当センターをけん引する車の両輪。このため、一人一会員入会や入会説明会の拡充、新規事業の開拓、また情報の発信などに重点的に取り組みます。

会員の皆様もぜひ地域や知り合いの方々にも声をかけるなど、会員や業務の拡大にご協力ください。

会員の皆様へ
その2

草刈り・剪定 できる方を募集

センターが請け負う様々な業務の中で、代表ともいえるのが草刈りや剪定の業務。しかし現在、この草刈りや



真剣にお話しを・・・(レディースサロン)

久しぶりでですね いきいき レディースサロン・ 女性の集いが開かれました

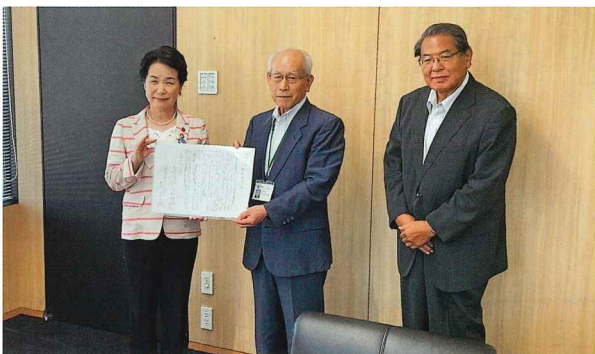
8月29日、「いきいきレディースサロン」が桜木・周陽・秋月地区の方を対象に保健センターで開催されました。今回のテーマは「フレイル予防」。フレイルとは近年コロナの影響などで増加中の「人と話さない」「外出しない」ことで体力や心身の活力が低下する状態のこと。市の保健師さんを講師に、その予防方法を学習しま

周南市長・議長へ センターへの支援を要請

8月10日、大田理事長、宮川副理事長、森重事務局長が藤井律子市長、土屋晴巳議長を訪問。毎年この時期、全国シルバー人材センター事業協会の総会で採択された当年度の決議書に基づきシルバー人材センターへの継続的な支援をお願いしています。

特に今年度は、センター事業へのご理解とご協力、また補助金や事業発注の確保に加え、近年課題となっている「インボイス制度」への適切な対応など安定的な事業運営に向けた措置を主な要望内容としています。

藤井市長に提出



土屋議長・福田副議長と



した。笑い声があふれる会場に集まった皆さんにはその心配はない、でしょうね。また9月20日には、保健センターと学び・交流プラザで「女性の集い」が2年ぶりに開催されました。体を動かしながらのお手玉や踊り、体操などでいい汗をかきました。昨年ほどどちらもコロナ禍で開催できず、久しぶりに出会う人もいて、あちこちで話の花が咲く楽しいイベントとなりました。



うちわでお手玉はむつかしい・・・(女性の集い)

除草、剪定などの人手が足りず、依頼があっても先伸ばしやお断りをせざるを得ない状況にあります。大変な作業ではありますが、きれいになったときの達成感や爽快感はまた格別なもの。チームで行う業務のため、経験がなくてもできる作業もあり、現場で研修しながらスキルを磨くこともできます。ホームページに「お仕事情報」を掲載していますので、ご覧の上、ぜひ一緒に。

の 広 場

秋の実り

磯崎登美子

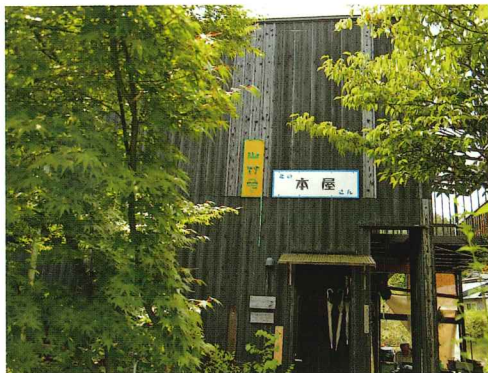


今回の就業依頼はブルーベリーの摘み取り作業。(表紙)

市内浦山にある戸倉正和さんのブルーベリー畑は昔水田であった段々畑。これまでも草刈り作業の依頼はありましたが、この度は摘み取り作業の依頼です。2017年から植え始めたブルーベリーの木が今では500本以上にもなったそうです。

色は紫ばかりではなくピンクのものもあり、ノーザンハイブッシュ系の実は500円硬貨ほどの大きさになるものもあるという。サザンハイブッシュ系、ノーザンハイブッシュ系、ラビッツアイ系などの種類で6月から9月までが収穫の時期。年間の収穫量は約1トンにもなるとか。

ソレーネ周南やJAなどで販売していて、ジャムの加工も予定しているというお話でした。



北の本屋さん「山野草」(長穂)

私もブルーベリーを育てていることもあり、興味があつて引き受けました。手芸部の仲間、岩本妙子さん二人で、早朝6時から8時まで2時間の作業。真夏の炎天下の元、水分補給し、熱中症にも注意しながらの摘み取り作業は大変でしたが無事に終えることができました。比較的簡単に育てられる果実のブルーベリー、私は週に5日通っている長穂の別荘?で鉢植えで育てていますが、今の時期、山の中でいろいろな野菜などを育てていますが、果物が好きでブルーベリーの他にも無花果や柿、昨年にはイチゴが300個も採れました。

楽しい

コンピュータ・クラブ

河村 泰子



「先生、オハヨウ!」
「あー、オハヨウ!」

「今日は宿題やっけないから小さいなつとこおー!」

「じゃあ、ついでにバケツ持って、廊下に立つとつてもらおうかな?」
「エへへへへへ」

こんな軽いジャブで、パソコン教室は始まりました。

私がパソコンを始めたのは今を遡ること十年むかし。市中の教室は授業料が高いので、家で一人ヒソソリ?やっていました。が、分からないことだらけ!

主人に尋ねると最初はちゃんと教えてくれるのですが、次第にイライラし始め、「チョット、かしてみい!」「チョット、のいてみい!」で、結局主人が自分でやってしまい、私は分からないまま、その内パソコンはお蔵入りになってしまいました。



シビック交流センターで

それから月日は流れ私も人並みに高齢者に。シルバーで仕事以外にクラブ活動もあることを知り、パソコン立ち上げるには何をどうするのかも忘れてしまっていた昨年9月、先輩の紹介でクラスに加えていただきました。皆様、和気あいあいとして、実に熱心に取り組んでおられる姿勢にひかれました。そのうえ、何よりの魅力は、授業料が格段に安いことです。(3時間の講座が月2回、合計6時間で千円)皆様、シルバーを通じて、生活を工夫し、楽しくいきましよう!

※一部のクラスの定員に空きがあります。この機会にいかがですか?(コンピュータ・クラブ)

みんな

周南里親会

小田 照明



私は「周南児童相談所」管内の里親でつくる組織、

周南里親会に所属しており、R2年に前任の会長から会長職を引き継ぎました。

ところが、新型コロナウイルスの影響により2年連続で総会が書面審査となり、その他の計画していた行事もほとんど中止になりました。この間、幸いにも里親希望の会員さんは、少しずつ増えており、LINEグループの中でトークはしていましたが、直接、顔を合わせる機会がありませんでした。

新型コロナウイルスが下火になった、昨年の10月24日(日)に「徳山動物園」にて里親、里子交流会を実施する事が出来ました。参加者は大人14名、幼児を中心とした里子7名プラス児童養護施設の女子児童5名でした。10時に園内に入り、幼児と手をつないで園内を散策、全員で同

じ弁当を食べ、午後からシャボン玉を作って遊びました。

今回の交流会で里親希望の新しい会員さんが幼児に触れる事が出来ましたし、久しぶりに屋外で遊べて充実した一日を過ごせました。

ヘアードネーション

藤田 千恵



定年前の2年間は「新型コロナウイルス感染拡大」と、経験したことのない辛い時期で生活様式が一変してしまいました。

この2年間、美容院に行くことも控えて髪を伸ばしてました。(元々、映画館や美容院でじつと座ることが苦手なのでが...)

ある日、同僚の職員が「ヘアードネーションしたらどうですか?」と言うのです。

ヘアードネーションとは、小児がんや先天性の脱毛症、不慮の事故などで頭髮を失った子供のためにウィッグ(かつら)を

作るため、髪の毛を寄付することです。31cm以上になるまでにコロナ禍の期間は十分だったようです。

今年定年(60歳)を迎えた私が、二度とこれほど髪を伸ばすことはないと思い、感謝の気持ちも込めてさせて頂いていただくことにしました。

髪を6つに束ねて、31cm以上のところに鋏を入られた時の「ジョリジョリ」という音に、「がんばって!行ってらっしゃい!」と声をかけました。隣のご婦人には「いい場面に立ち会わせてもらいました」と言っていたいただきました。

半紙に包まれた髪を封筒に入れてポストに投函。これからは一年一年、いただけるお仕事に感謝しつつ頑張ってます。



第2回「衛生委員会」報告

睡眠不足と

疲労に注意

当センターには、働く人の健康を守るため、産業医や派遣会員の代表、衛生管理者などで構成する「衛生委員会」があります。

8月19日に開催した第2回委員会の議題はコロナについての情報交換のほか、「健康チェック票」の現状報告など。

高齢者は血圧の調整機能の低下により、睡眠不足や疲労時、食後や立ち続けた際に一時的な血圧低下で失神するところがあり、注意が必要のことで啓発チラシを作成することといたしました。

チラシは今号とともにお届けしています。ぜひご一読ください。



事務局短信

TANSHIN

大田理事長が県会長に再任

6月21日に開催された(公社)山口県シルバー人材センター連合会の定時総会において、当センターの大田良充理事長が県の会長に再任されました。3期めで任期は2年間です。



大田理事長

場所 周南地域地場産業振興センター

シルバーフェスティバル

日時 10月21日(金)

10時30分～16時00分

場所 KDDI維新ホール

チケット制
連合会主催

お知らせ

地域班長会議

地域班長及び役員 合同会議
を次の通り行います。

日時 10月13日(木)

13時30分から

街かどスケッチ

久しぶりに徳山動物園を訪ねました



アカアシドゥクラングール

「世界で一番美しいサル」7月20日来園



スリランカゾウの「ミリング」と「ナマリー」
2013年来園



レッサーパンダ

6月17日baby誕生 9月から一般公開

熊毛地区 12月実施予定
その他の地区は未定

会員手帳・カレンダー 最寄りのセンターで

12月に入って、2023年度版シルバー人材センターの会員手帳を販売します。
一冊300円

カレンダーは一人一冊につき無料で配布します。
いずれも数に限りがあります

ので、お早めにお求めください。

表紙の会員さん

岩本 妙子

ここまで人生を生きて、リンゴ狩りやみかん狩りは経験しま

したが、ブルーベリーの収穫ははじめてでした。

実際に作業を始めるまでは、朝早く起きれるだろうか、い実が見分けられるだろうか、傷をつけずにとれるだろうかとすぐ不安でしたが、いざやってみると時間を忘れて熱中するくらい楽しかったのです。

畑を見た時、鈴なりになったブルーベリーは白い粉をふいて紫色の真珠のように見えました。手袋をしている手で大粒のものをよるのは難しいことでした。

虫がつく事、下草を刈る事など畑を管理することは、想像以上に大変だったことでしょう。お世話になりました。

編集後記

元気な蝉の声が虫の声に変わり秋の到来を感じる頃となりました。秋といえば、いろいろな楽しみがありますが、会員の皆様はどのような秋を満喫されていますか？

今回は、衛生委員会からのお知らせを添付しました。夏の疲れを癒やし、これからの季節を元気に過ごしましょう。